

編集後記

つい先日、初めての企画提案を終えました。〆切が迫ってきた夏前から少しネタを考え始め、何かちょっと変わったことでも企画してやろう、なんて最初は思ったもののやはり上手くはいかないのが常です。学会誌には先人の築き上げた「型」があり（ホームページ上ではジャンルとあります）、編集委員はそのどれかを担当します。そして歴代の執筆者の方々はその枠内で素晴らしい記事を書かれています。こうなると型破りな内容はかなりの勇気を持たないと提案しづらい訳です。例えばですが、「手書きの講義ノート集」とか「袋とじ」とかを思いついても、とても恥ずかしくて提案できない。編集委員会で大スベリすることを恐れた私は、型通りの企画を提案することに決めたのでした。

一方で過去には毛色の違った記事もあるもので、例えば「プラズマ・核融合科学者として君たちはどう生きるか」という“講座”を見つけることができます。ちょっと型破りかも、と思わせるタイトルです。しかしどうやらこの連載は未完に終わっているようで、最後の方の記事は見当たらない。読者の皆様も気になっておられたでしょうか。そこで真相を企画担当者に尋ねてみると、「いや、完結している」とのこと。謎は深まりますが、記事がないのも「メッセージ」らしい。そう言われると考えさせられるような気もします。（人によって解釈が相当変わりそうですが、）例えるなら、最前線で金脈を掘っている人にレポートを書く時間なんてないよな…なんて思ったりして、道を切り拓くには「型」を破る人がきっと必要なのです。

（恩地拓己）

プラズマ・核融合学会 役員

会長：安藤 晃	副会長：坂本瑞樹(推薦委員長：研究助成)	花田磨砂也(男女共同参画委員長)	井 通暁(推薦委員長：学会賞)
常務理事：市口勝治(総務委員長)			
理事：渥美寿雄 大原 渡 坂本克也 田中康規(企画委員長)	居田克巳 児玉了祐(広報委員長) 白藤 立 藤田隆明(年会運営委員長、企業展示検討委員長)	稻垣 滋 古閑一憲(支部・地区研究連絡会委員長) 仙波智行(財務委員長) 鳥養祐二(研究部会連絡委員長)	高橋幸司 村上 泉(編集委員長)
監事：前田達志	立松芳典		林 伸彦

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 大原 渡(山口大) 応用 白藤 立(大阪公立大) 核融合プラズマ 林 伸彦(量研) 核融合炉工学 渥美寿雄(近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：村上 泉(核融合研) 副委員長：鳥養祐二(茨城大)

エディタ：前原常弘(愛媛大), 稲垣 滋(京大), 重森啓介(阪大), 高橋裕己(核融合研), 石澤明宏(京大), 大矢恭久(静岡大)

編集委員：伊神弘恵(核融合研), 池田善久(愛媛大), 伊藤 悟(東北大), 宇藤裕康(量研), 岡本征晃(石川高専),

小田靖久(摂南大), 恩地拓己(九大), 河内裕一(名大), 川面洋平(宇都宮大), 小島完興(量研), 小林達哉(核融合研),

佐野孝好(阪大), 篠原正典(福岡大), 白戸高志(名大), 曽根宏隆(豊田自動織機), 高橋一匡(長岡技科大),

富田健太郎(北大), 中野治久(核融合研), 中村友祐(名大), 成田絵美(京大), 難波慎一(広島大), 針谷 達(岐阜大),

皇甫度均(筑波大), 古川武留(神戸大), 松岡清吉(量研), 本島 厳(核融合研), 山崎広太郎(広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第101巻第1号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印 刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2025年(令和7年)1月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。